

消費者教育の現状

～教育現場からの報告～

消費者教育推進法施行後、団体・行政・企業など各方面で様々な教材が開発されつつありますが、一方で「教育＝考え方の定着・習慣化」を持続して推進し続けるリーダーシップとそのノウハウを得る機会はまだそれほど多くはありません。この講座では、神奈川県立海老名高等学校で、高校生に対する先駆的な消費者市民教育・環境教育を長年にわたり推進してこられた梶ヶ谷穰氏をお招きし、ご自身の体験を基に教育現場から見つめ続ける消費者教育の現状と実践ノウハウについて学びます。

講師

昭和音楽大学 非常勤講師

梶ヶ谷 穰氏



<プロフィール> 元神奈川県立海老名高校の公民科教諭、同校のファイナンス・クラブ顧問。このクラブについて先生は「物事を多角的に捉え、考え、自主的に行動できるように導くのが消費者教育の原点。生徒たちはごく自然に『消費者市民社会』を受け入れているようです」と話されています。公民科の教科書執筆、日本消費者教育学会評議員など活躍は多岐にわたります。

日時：10月24日(土) 13:30～15:30

会場：東京ウィメンズプラザ

定員：50名(先着順)

資料代：NACS会員・賛助会員500円／一般1,500円



◆当協会ホームページ申込みフォームよりお申し込みください。

→ で検索！

主催・お問い合わせ先

(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 東日本支部 消費者教育研究会

E-mail: k-syohisyakyoiku@nacs-east.jp